

十勝ダムの防災操作効果について

平成24年5月3日から降り始めた雨により、十勝川の上流にある十勝ダムでは、**河川の水**
位を低減させる防災操作を実施しました。

ダムに流れ込んでくる水の一部を貯め込み、下流に放流する水を少なくすることで、十勝
川の共栄橋（共栄橋水位観測所）付近の水位を**概ね0.3m程度低減**させたと想定されます。



十勝ダムの貯留状況



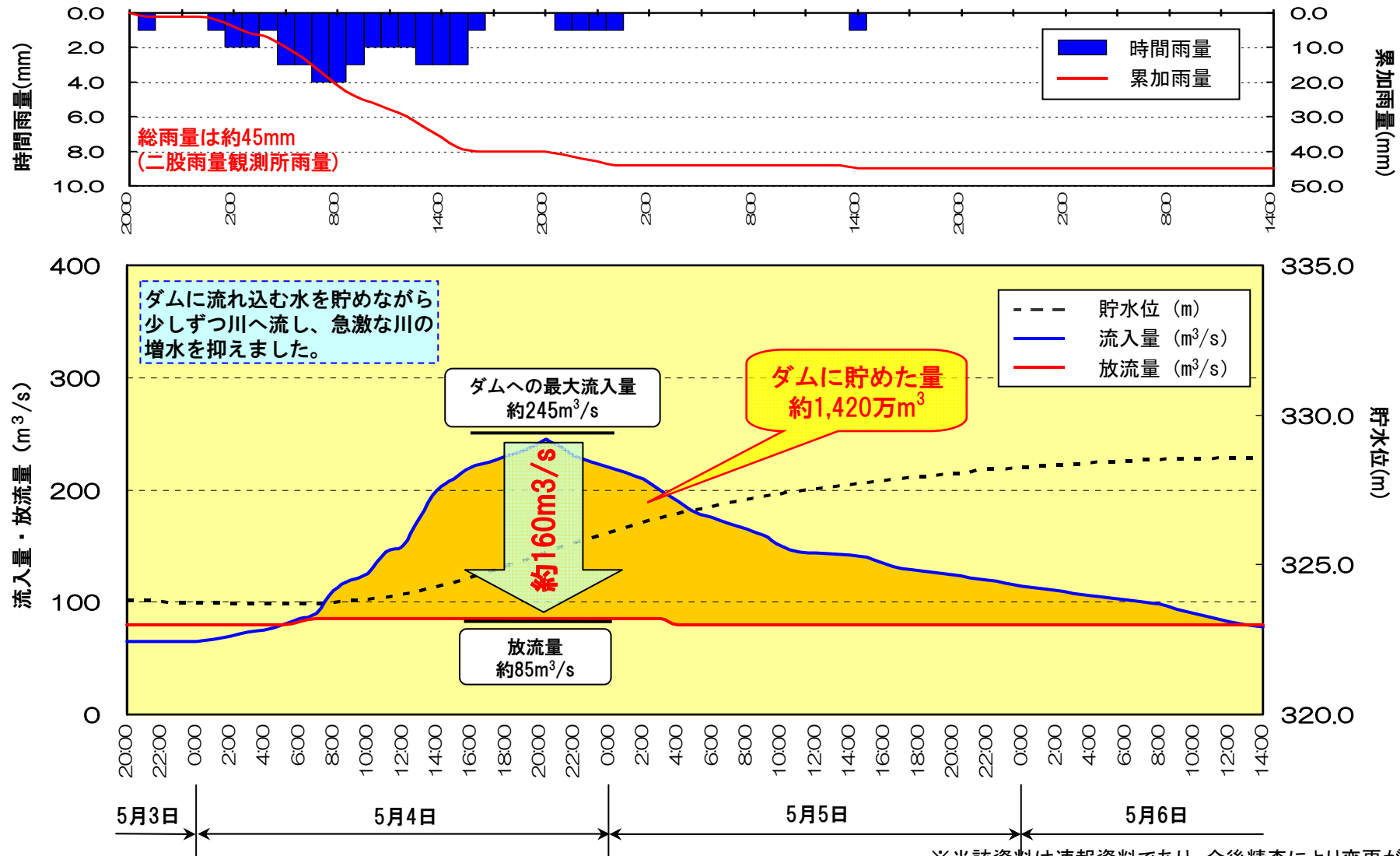
共栄橋水位観測所（共栄橋付近）



※当該資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます。

十勝ダムの防災操作状況

今回の出水において、十勝ダムでは最大で毎秒約245m³の流入がありました。それに対して、下流への放流を最大でも毎秒85m³程度に抑え約1,420万m³（札幌ドーム約9個分）の洪水をダムに貯め、下流河川の水位低下を軽減を図ることが出来ました。

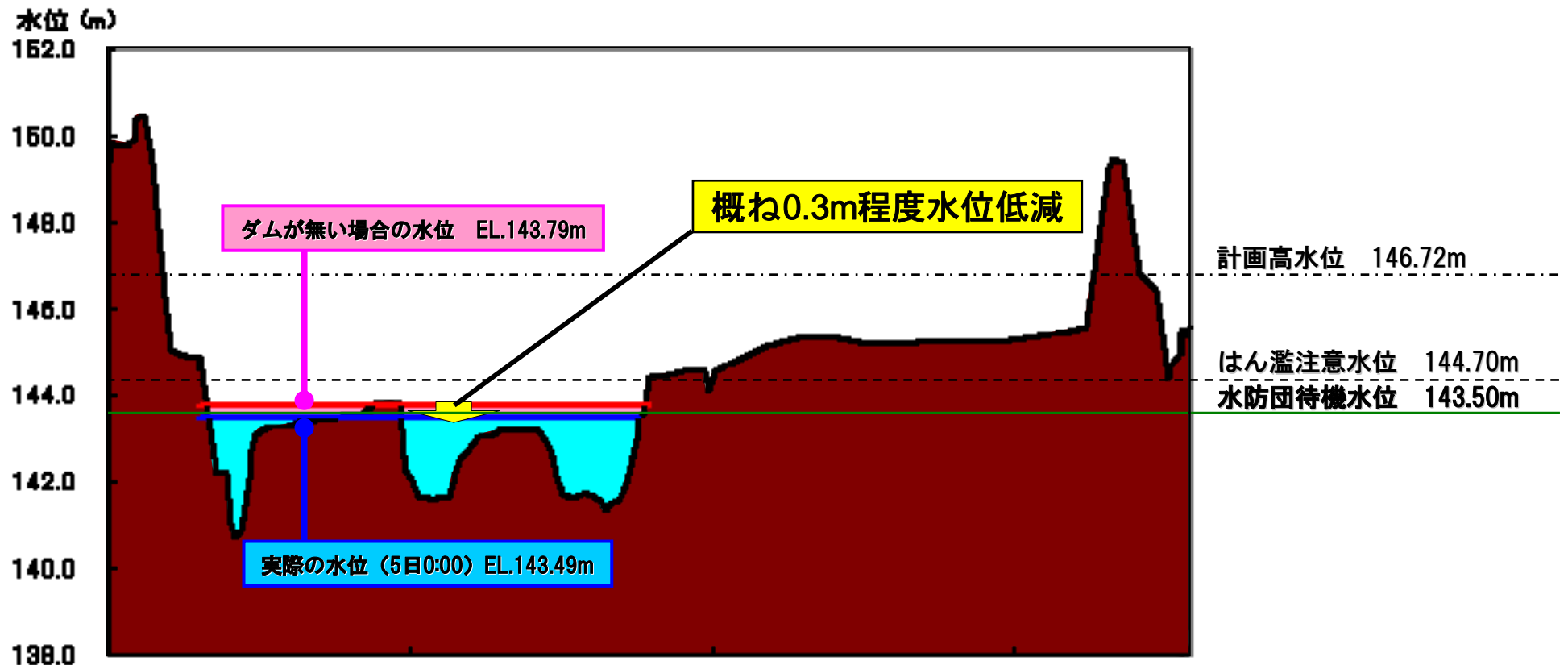


※当該資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます。

十勝ダムによる水位低減効果（共栄橋水位観測所地点）

十勝ダムの防災操作により、十勝川の共栄橋（共栄橋水位観測所）付近の水位を概ね0.3m程度低減させたと想定されます。
これにより「水防団待機水位」を超える水位上昇を抑えたと推測されます。

◆共栄橋水位観測所地点（十勝ダム下流約23km）



※当該資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます。